

高校世界史プリント（過去問類似）

近代（市民革命～帝国主義） No.7

名前

得点

/10

問1 19世紀前半のアメリカ合衆国では、南部で黒人奴隷を用いた綿花プランテーションが拡大し、西部に新州が誕生するたびに奴隷制の可否をめぐる南北の対立が深まった。1854年に制定され、新たに設置される準州における奴隷制の可否を住民の決定に委ねるとしたことで、1820年の南北の妥協を事実上撤廃し、南北対立を決定的なものとした法律は何か。 (2009年 全国公立入試 類似)

1. ウィルモット条項 2. 1850年の妥協 3. ミズーリ妥協 4. カンザス・ネブラスカ法

問2 1848年の政変によってルイ＝フィリップの王政が打倒された後、フランスではラマルティエヌやルイ＝ブランらが参画する臨時政府が樹立された。男性普通選挙の導入や国立作業場の設置など、急進的な改革が試みられたこの時期のフランスの政体（体制）を何というか。 (2021年 全国公立入試 類似)

1. 第四共和政 2. 第三共和政 3. 第一共和政 4. 第二共和政

問3 19世紀、隣接するインドの支配を固めたイギリスは、東方への勢力拡大を図って3回にわたる戦争を行った。その結果、現地の王朝が滅亡し、1886年に英領インド帝国の一州として併合された地域はどこか。 (2026年 全国公立入試 類似)

1. シヤム 2. ビルマ 3. ジャワ 4. ラオス

問4 18世紀後半から19世紀前半にかけてのドイツでは、古典主義やロマン主義の文学が栄えた。文学活動の傍らで植物変態論や色彩論などの自然科学研究にも取り組み、悪魔メフィストフェレスと契約を結んだ学者の生涯を描いた戯曲『ファウスト』を著した文豪は誰か。 (2017年 全国公立入試 類似)

1. ゲーテ 2. ユゴー 3. シラー 4. ハイネ

問5 1970年に南米のチリで、民主的な選挙によって成立した社会主義政権の首班となり、銅鉱山の国有化などの改革を推進したものの、1973年の軍事クーデターによって打倒された大統領は誰か。 (2018年 全国公立入試 類似)

1. ピノチェト 2. バティスタ 3. アジェンデ 4. チャベス

問6 19世紀末から20世紀初頭の帝国主義時代、フランスなどの欧米列強が、アジアやアフリカの植民地支配を単なる武力征服ではなく、自国の優れた言語や文化、制度を普及させる「義務」であるとして正当化した主張を何というか。 (2023年 全国公立入試 類似)

1. 文明化の使命 2. 東亜の新秩序 3. 生存圏の拡大 4. 明白なる天命

問7 19世紀後半に統一を達成したイタリア王国は、アフリカ東部への帝国主義的進出を試みた。しかし、1896年のアドワの戦いにおいて、近代化を進めていた現地の皇帝メネリク2世率いる軍隊に大敗し、撤退を余儀なくされた。イタリアの侵入を退け、独立を維持したこの東アフリカの帝国の国名として最も適当なものを答えよ。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. リベリア共和国 2. エチオピア帝国 3. ザンジバル王国 4. マダガスカル王国

問8 19世紀末のアフリカ分割において、インド洋に浮かぶマダガスカル島を侵略して植民地とし、さらにセネガルからジブチを結ぶアフリカ横断政策を推進したヨーロッパの国はどこか。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. イギリス 2. フランス 3. ベルギー 4. イタリア

問9 1773年、イギリス本国が東インド会社の経営救済を目的として制定し、北米植民地における茶の独占販売権を与えた法律で、植民地側の激しい反発を招き、のちの独立戦争への導火線となったものは何か。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 印紙法 2. 茶法 3. 糖蜜法 4. 砂糖法

問10 19世紀後半の朝鮮において、幼少の国王高宗の父として実権を握り、フランスやアメリカの軍事侵入を退けた後、欧米列強との和親を禁じる石碑を各地に建立するなど、強硬な鎖国・攘夷政策を推進した政治家は誰か。 (2021年 全国公立入試 類似)

1. 金玉均 2. 朴泳孝 3. 金弘集 4. 大院君

答え合わせ・解説 No.7

問1	答え 4 カンザス・ネブラスカ法	19世紀前半のアメリカ合衆国では、南部を中心に黒人奴隷を労働力とする綿花プランテーションが急速に拡大した。領土が西部に拡張して新しい州が誕生する際には、その州で奴隷制を認めるか否かをめぐり、南部と北部の間で深刻な政治的対立が繰り返された。1854年に制定されたこの法律は、新州であるカンザスとネブラスカの奴隷制の可否を住民の主権（投票）に委ねると定めたため、1820年のミズーリ妥協で定められた奴隷制禁止ライン（北緯36度30分）が事実上撤廃されることになり、南北の対立は武力衝突に発展するほど激化した。
問2	答え 4 第二共和政	1848年の二月革命によって七月王政が打倒された後、フランスでは共和政の臨時政府が樹立された。これは1792年の第一共和政に続くものであるため、第二共和政と呼ばれる。この体制下では、史上初の男性普通選挙が実施されたほか、社会主義者ルイ＝ブランの主導で失業者救済のための国立作業場が設置されるなど、民主的・社会的な改革が試みられた。
問3	答え 2 ビルマ	19世紀、イギリスはインド支配を足がかりに東方へ進出し、コンバウン朝との間で3次にわたる戦争（ビルマ戦争）を行った。1885年の第3次戦争でコンバウン朝は滅亡し、翌1886年にイギリスはビルマを英領インド帝国の一州として併合した。なお、隣国のタイ（シャム）は英仏の緩衝地帯として独立を維持した。
問4	答え 1 ゲーテ	ドイツの古典主義を代表する文豪であり、代表作『ファウスト』や『若きウェルテルの悩み』で知られる。彼は文学のみならず自然科学への関心も極めて高く、骨学、植物学、色彩論などの分野で独自の業績を残した。同じくドイツの文豪であるシラーなどと区別する必要がある。
問5	答え 3 アジェンデ	チリでは1970年に社会主義者のアジェンデが大統領に就任し、平和的移行による社会主義政権が誕生した。しかし、国有化政策などに対する国内外の反発が強まり、1973年にピノチェト將軍率いる軍部のクーデターが発生して政権は崩壊した。アルゼンチンではなくチリでの出来事である。
問6	答え 1 文明化の使命	19世紀末以降の帝国主義の時代、欧米諸国はアジアやアフリカに植民地を広げる際、自国の文明を普及させることが自国の義務であると主張した。この考えに基づき、植民地の人々に対して自国の言語や生活習慣を教育・強要した。
問7	答え 2 エチオピア帝国	19世紀末のアフリカ分割において、アフリカの大部分がヨーロッパ列強の植民地となったが、東アフリカのエチオピア帝国は、1896年のアドワの戦いでイタリア王国の侵略を撃退し、独立を維持した。もう一つの独立維持国であるリベリア共和国とともに、帝国主義時代におけるアフリカの独立国として重要である。
問8	答え 2 フランス	マダガスカル島は19世紀末にフランスによって植民地化された。同国はアフリカ西海岸のセネガルから東海岸のジブチを結ぶアフリカ横断政策を推進し、1898年にはスーダンのファシヨダでイギリスと衝突するファシヨダ事件を引き起こした。
問9	答え 2 茶法	七年戦争後の財政難に苦しむイギリス本国は、植民地への課税や統制を強化した。1773年に制定されたこの法律は、経営難に陥っていた東インド会社に茶の独占販売権を与え、植民地での茶の密輸を排除しようとしたものである。これに対し、植民地側は本国の専制的な課税・特権付与政策に強く反発し、同年のボストン茶会事件へと発展した。
問10	答え 4 大院君	19世紀後半の朝鮮では、幼少の国王高宗の父である大院君が摂政として実権を握った。彼は国内の改革を進めるとともに、対外的には強硬な鎖国・攘夷政策をとり、フランスの侵入（丙寅洋擾）やアメリカの侵入（辛未洋擾）を撃退した。その後、欧米列強との和親を売国行為として警告する「斥和碑」を全国各地に建立して攘夷の意志を固めたが、のちに閔氏政権に実権を奪われ、朝鮮は開国へと向かうことになった。